



くすの木

令和4年度 NO.1 四万十市立具同小学校 《文責：中平》



<学校教育目標>

学びを楽しむ やさしく かしく たくましく 共に高め合う児童の育成

本日 65 名の新一年生を迎え、1年生から6年生までの 389 名の子どもたちと、45 名の教職員とともに令和4年度をスタートしました。教職員が一丸となって子ども達の健康と安全を第一に考えつつ、知・徳・体のバランスを重視して教育活動を展開していきたいと思ひます。申し遅れましたが学校長として着任しました中平泰史でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

魔法の言葉

～新一年生にむけて
入学式式辞より抜粋～

今日は、新しく入学したみなさんに、校長先生から小学校での生活を楽しく過ごすのに役立つ「魔法の言葉」を贈ります。魔法の言葉は三つあります。

まず一つ目は「おはようございます」という言葉です。今日、みなさんは、新しいお友達や先生方と初めて会いました。校長先生とももちろん初めてです。とてもドキドキしたと思ひます。どうしたら仲良くなれるのかわからなくて困っているかもしれません。でも、大丈夫です。明日、学校に来るときや教室で出会った時に、元気な声で「おはようございます」と言ってみましょう。すると、不思議なことに、いろいろなお話が次々に出てきて、たちまち仲良しになれます。

二つ目は「ありがとうございます」という言葉です。みなさんは、おうちの方や保育所、幼稚園の先生方、お友達などたくさんの人に支えられて小学校に入学できました。これからもみなさんは、周りの人たちにたくさん助けていただきながら学校生活を送ります。もし他の人から助けてもらった時には、元気な声で「ありがとうございます」と言ってください。

三つめは「おねがいします」という言葉です。一年生になったので、これからは自分でできることは自分でしなければいけません。でも、やりたいことがあってもうまくできない時、周りの人に何かしてもらいたい時には、勇気を出して「おねがいします」と言ってください。

もう一度言ひますよ、三つの魔法の言葉、一つ目は「おはようございます」二つ目は「ありがとうございます」そして三つ目は「おねがいします」。みんなで声を出して練習したいですが、今大きな声をみんなで出すことができないので、教室に返って練習してみてください。



入学式後、「魔法の言葉」の練習をしました。

新一年生の保護者の皆様へ

お子様のご入学おめでとうございます。小学校への入学は子育ての一つのステップでもあり、お子様の成長を感じられる本当に嬉しい瞬間ではないでしょうか。それと同時に、小学校六年間で様々な学習や体験をし、大きく成長して欲しいと願っていることと思います。その願いは、私たち教職員も同じです。その共通の思いや願いのもと、子ども達のために、心をつなげて、できることを着実に実行する学校と家庭でありたいと思っています。そのためにもどうか、学校の教育活動への一層の理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

始業式での話

～入学式前に行われた始業式で

2年生から6年生に～

学年が一つ上がったみなさんの表情を見ていると、うれしそうな表情ややる気満々の表情が伺えます。そんな表情を見ると、今よりもっと良い具同小学校になりそうだと思います。

また、今朝、赤門の所に立っていると、きちんと立ち止まって「おはようございます」が言え、そしてお辞儀ができる。とても気持ちの良い朝になりました。ずっと続けていきましょう。

一つずつ学年が上がったみなさんに、今年度頑張ってもらいたいことを話します。

<2年生>新一年生が入学してくるので、一年生が学校に早くなれるようにいろいろと教えてあげてください。算数では初めて九九が出てきます。早く覚えられるように頑張りましょう。

<3年生>クラス替えがあって、また新たな気分で頑張ろう。新しく同じクラスになった友達と仲良くなることを一番に考えてください。理科や社会、総合的な学習の時間も始まるので勉強も頑張ってください。

<4年生>総合で四万十川のことを学習します。3年生の時と同じように、友達と協力して調べたりまとめたりしていきましょう。クラブ活動もあるので楽しみにしててください。

<5年生>委員会が始まり、上級生としての責任ある行動に期待しています。水泳や陸上記録会、音楽祭にも参加します。家庭科も新しく始まるので頑張りましょう。

<6年生>6年生は学校の顔です。6年生で学校が変わります。掃除や作業、行事、縦割り班活動など全て6年生がリーダーです。具同小の伝統を作ってください。そして小学校最後の学年を楽しい一年にして一人一人が輝きましょう。

6年1組の谷岡さんは、とても立派な態度で入学式の歓迎の言葉が言えました。最上級生の風格が感じられました。すばらしい。

そして全員に、あいさつがきちんとできて、いじめのない、みんなが楽しく笑顔いっぱいの学校にしていこう、感染症対策をしっかりして学校生活をおくることをお願いして話を閉じました。いじめがなく、一人一人に居場所がある学校づくり、学校が居心地の良い場所となるように取り組んでいきたいと思っています。保護者のみなさんもお協力をよろしくお願いします。

子ども達を「～さん」で呼びます

「ジェンダーレス」という言葉をよく耳にするようになりました。男女の社会的な差が取り払われていること、また取り払おうとする考え方のことです。また「多様性」ということばもよく聞きます。昨年行われた東京オリンピック・パラリンピックのスローガンの中にも「一人一人が互いを認め合う（多様性と調和）」という言葉がありました。今後はますます様々な価値や個性を受け入れながらお互いを尊重していくことが重要視されることと思います。

そこで今年度から具同小学校の教職員は、子ども達を男女の区別なく「～さん」と呼ぶこととしました。初めは教職員も子ども達も戸惑うことと思いますが、取り組んでいきたいと思っています。

ご理解のほどよろしくお願いします。

◇転入職員の紹介

職名	氏 名	前任校等	職名	氏 名	前任校等
校長	中平 泰史	西部教育事務所	講師	尾崎 のぞみ	
教諭	才市 美奈	中村小学校	講師	小松 美晴	
教諭	グダーニ 藍	中筋中学校	講師	宮本 陣	
教諭	渡辺 敏行	田野町立田野小学校	栄養 教諭	大原 景子	東山小学校
教諭	森 智奈美	三原村立三原中学校			
教諭	浅井 柚衣	宿毛市立小筑紫小学校	支援員	宮崎 一朋	
教諭	上田 瑞里	県立中村特別支援学校	支援員	岡村 新大	
教諭	井上 翔太	新採用	支援員	安部 さくら	
教諭	山内 美緒	新採用	支援員	上岡 奏心	

◇本年度の学級編成と在籍児童数

学年等	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
計	59	57	71	55	58	65	
学級数	2	2	3	2	2	2	
なかよし 知的学級	たんぽぽ1 情緒学級	たんぽぽ2 情緒学級	たんぽぽ3 情緒学級	ひまわり 弱視学級	なのはな 言語学級	あおぞら 肢体学級	合計
4	5	7	5	1	1	1	389
1	1	1	1	1	1	1	20

◇令和4年度学校組織

学年・学級・担当等	氏 名	職名・担当等	氏 名	学年・教科等
1年1組	上田 稚子	校長	中平 泰史	
1年2組	亀井 栞里	教頭	濱口 格	
2年1組	堀 恵子	教頭	佐田 有里	6年音楽
2年2組	山内 美緒	主幹教諭	金子 雅彦	3年理科
3年1組	溝渕 千波	研究推進担当	松浦 愛	5年家庭科
3年2組	町田 季咲	通級担当	竹中 秀司	通級指導教室
3年3組	伊藤 樹莉	理科専科	森 智奈美	3年～6年理科
4年1組	乾 百合子	外国語専科	グダーニ 藍	3年～6年外国語
4年2組	井上 翔太	初任者担当	才市 美奈	初任者研修
5年1組	田中 祐人	養護教諭	橋本 さゆり	保健指導
5年2組	浅井 柚衣	栄養教諭	大原 景子	給食指導
6年1組	松田 未恵	事務総括主任	山崎 千春	
6年2組	広井 暁	学校用務員	有光 孝子	
なかよし（知的）	上田 瑞里	支援員	山崎 淑	なかよし
たんばぽ1（自・情）	稲田 佳奈	支援員	安部 さくら	なかよし
たんばぽ2（自・情）	渡辺 敏行	支援員	畠 杏里	ひなた学級（特別支援学級）
たんばぽ3（自・情）	尾崎 のぞみ	支援員	小松 寿賀	たんばぽ1
なのはな（言語）	山田 凌大	支援員	岡村 新大	たんばぽ1
ひまわり（弱視）	宮本 陣	支援員	宮崎 一朋	たんばぽ2
あおぞら（肢体）	小松 美晴	支援員	上岡 奏心	たんばぽ2
高知大学大学院留学	宮崎 奈苗	支援員	押谷 亜紀	たんばぽ3
ALT	ジェイダ ディカソン	図書支援員	堀川 美宙	
		校務支援員	林 美和	